

令和5年度 土浦日本大学高等学校通信制課程自己評価結果

令和6年度 取組目標との方策

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育活動 (教務)	生徒の進路目標に即した指導を目指し、教員の資質の一層の向上	I C T を効果的に活用し、生徒一人一人の進路目標に即した進路指導及び学習指導を推進する。特に、レポートの提出やスクーリングへの参加が遅れる状況が散見できるため、シラバスを十分に活用して個に応じた指導を徹底する。	個々の生徒の特性を十分把握し、適切な時期に適切な指導を継続し、スムーズな単位修得を実践する。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教科指導 (教務)	新学習指導要領に即した学習指導の推進	各教科において新学習指導要領に即した指導を実践する。生徒一人一人の進路目標を正確に把握し、適切な学習内容になるように個に応じた指導計画を準備、実践する。 また、常にカリキュラムや教育システム全体を見渡し、年度の途中においても改善を図る。	教科会を活用し、教科内における各教諭の進捗状況や課題を共有し、課題解決を図る。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
学校生活への配慮 (生徒指導)	①生徒の把握	個の多様性の視点において、生徒が抱えている課題は様々である。普段から保護者との連携を密にし、また、学校における観察や声掛けから個々の課題を明確にして、全教職員で適切に対応する。	年間を通して取り組む。
	②挨拶の励行	個々の生徒にしっかりと寄り添った指導の導入として、登下校時の挨拶(声掛け)を教職員から励行し、生徒にとって安心感のある環境を整備する。	年間を通して取り組む。
	③いじめの根絶	様々なことを敏感に感じてしまう生徒が多数在籍しており、『早期発見』、『適切な対応』、『再発防止』だけでなく、『未然防止』の視点であらゆる教育機会において全教職員が注視する体制づくりに取り組む。また、カウンセラーとの連携を図り、個々の課題に寄り添う指導を目指したい。	年間を通して取り組む。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
進路指導	①日本大学付属推薦への適切な対応	基礎学力到達度テスト1か月前から対策特別授業を計画、実施し、生徒の学力や意識の向上を図り、結果につなげたい。また、推薦審査会や調査書の処理についても出願に支障が出ないよう万全な体制で臨み、生徒や保護者の意思確認等を確実にを行い、進路目標を達成できるよう指導する。	日本大学からの情報はその都度クラスルームや面談等を通じて生徒、保護者に確実に伝える。 教職員へは朝会・教職員会議で伝達し、徹底を図る。
	②全日制課程開催の日本大学出張講義、オープンキャンパス等への積極的な参加	全日制で開催する進路講演会、ガイダンス等について、通信制の生徒に参加を促し、自己目標達成のための情報収集の場とする。 生徒の進路目標を達成するために、オープンキャンパス等への積極的な参加を促し、志望校選定のための情報収集の場とする。	年間行事予定表に即して実施する。
	③他大学受験のための適切な進路指導の充実	個々の目標に即した国立大学、私立大学受験のための情報提供や指定校推薦、公募推薦にも適切に対応する。また、必要書類(志望理由書)作成や、論文指導、面接指導の充実を図る。	様々な入試方法の適宜対応し、遅延なく適切に指導する。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育相談	生徒の学校生活への適応支援の充実	普段の学校生活では担任が生徒を支えているが、生徒の状況や希望によりスクールカウンセリングの活用を促す。その際、対面、Web面談等の日程を調整し、実施の際には教員を同席させる。また、教育相談体制を保護者にも周知して家庭との連携を図る。 必要な生徒には個別指導計画を立案して状況に応じてケース会議を開催する。また、外部の諸機関との連携も考慮する。	生徒個々の状況に応じて適宜対応する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
いじめ防止対策	いじめの未然防止	<p>現在、通信制課程では生徒の友人関係が希薄である現状を踏まえ、いじめ等の事案は確認されていない。しかし、前所属校における人間関係を引きずる事案があり、情報収集を図り、適切な指導を実施する。今後は生徒の増加が見込まれ、多様な課題を抱える生徒も増えると思える。『未然防止』を指導の軸として、教職員の観察や情報の集約、カウンセラーとの連携を推進する。</p> <p>全生徒を対象としたアンケート調査を実施するほか、生徒、保護者には面談時に聴き取り調査を行う。把握した事案に対しては直ちに調査・認定・対応策を検討し、被害生徒の支援を最優先しつつ、加害生徒も支援する。また、関係保護者と情報を共有し、家庭における支援・指導を要請する。重大事態が発生した場合は県に報告し、外部有識者の協力も得て対応に当たる。また、犯罪行為の場合は警察とも連携する。</p> <p>事案に即した再発防止策を検討し、実施する。また、発生した事案を全教職員が共有し、同種事案発生の防止に取り組む。</p> <p>いじめ問題に対する教職員の意識を向上させ共通理解を深めることを目的として、定期的な問題提起や情報提供を行う。</p>	生徒個々の状況や事案に応じて適宜対応する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
広報 (情報入試)	①新入生、転籍、転学の生徒確保の推進	<p>開校4年目を迎え、新入生、転学生確保に向けて進路相談会を延べ10回計画、実施する。</p> <p>他校の状況等を把握して中学校、高等学校を訪問して本校の特色を広報する。また、昨年度は年度の途中で転籍、転学者が29人編入した状況を踏まえ、高等学校訪問を通して編入者確保を目指す。</p> <p>通信制課程連絡協議会合同説明会、私学フェア等への参加。ホームページのリニューアル。学校案内のリニューアル。新聞広告への掲載等により、通信制課程の広報、周知に努める。</p> <p>個別相談体制を強化し、より多くの受験生・保護者に来校を促し、受験生、編入生のニーズに即した内容をアピールし、生徒数確保に努める。</p>	<p>通年：計10回の進路相談会開催</p> <p>通年：中学、高等学校訪問</p> <p>通年：HPの更新、情報発信</p> <p>通年：計5回の訪問チラシ作成</p> <p>2月～5月：学校案内作成</p> <p>1月～：入学試験</p>
	②インターネットを活用した生徒募集活動	<p>インターネットを活用した生徒募集活動をさらに推進する。</p> <p>ホームページの更新、情報発信の充実により、入学、転学希望者や保護者に最新の情報を発信する。</p>	年間を通して実施

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
管理運営 (事務)	①校務運営の円滑化	<p>入学式、卒業式、校外学習、キャリア教育等を教学部門・全日制課程と連携し、円滑な実施を図る。また、新入生、転籍・転入生の増加を期すため、教育システムの充実、学校案内・ホームページリニューアルなど必要な予算を確保するとともに、教学部門・入試広報との連携を図る。</p>	1年間継続して取り組む。
	②教育環境の充実・維持	<p>新校舎でより充実した授業が展開できるようICT設備の整備をはじめとした生徒の学習環境の整備を図る。また、保護者面談および見学者の説明スペースの機器備品の整備を図る。</p> <p>つくば研究学園方面からの生徒が増加傾向にあり、次年度に向けてつくば駅送迎の効果的な改善を模索し、推進する。</p>	計画的に進めると同時に、安全確保を最優先に取り組む。